

蛙のゴム靴

宮沢賢治
みやざわけんじ

松の木や檜ならの木の林の下を、深い堰せきが流れて居をりました。岸には茨いばらやつゆ草やたでが一杯にしげり、そのつゆくさの十本ばかり集った下のあたりに、カン蛙がへるのうちがありました。